

平成27年度 第2回羽幌町就学前子育て支援審議会 会議録

- 1 開催日時 平成27年10月28日(水)午後6時00分～午後7時15分
- 2 開催場所 羽幌町すこやか健康センター
- 3 出席委員及び欠席委員の氏名
(1) 出席委員：小川 礼子、大長 司、若林 めぐみ、坂本 愛、金子 美幸、
端 紀美枝、阿良 由香、加藤 五月、坂本 浩之、三谷 博子、
大水 隆司
(2) 欠席委員：斉藤 真治、畑 史彦、小國 美恵子
- 4 説明のため出席した事務局職員の氏名
福祉課長 熊木 良美、子ども係長 宇野 延仁、子ども係主事 津田 聖也
- 5 会議の公開、非公開又は一部公開の別 公開とする

6 議題及び議事の要旨

- (1) 議 題 羽幌保育園の今後について
- (2) 議事要旨

○事務局より資料について説明。

前回の審議会では羽幌保育園の現状について説明したが、今回はその後に実施した保護者説明会の内容やアンケート結果等を報告し、羽幌保育園の今後について、町の考え方がまとまったので方針を説明する。

○質疑・意見等(以下のとおり)

委員：直接は関係ないかもしれないが、「欠年齢クラスがあるため異なる年齢との交流が不足することが懸念される」とあるが、例えば小学校で複式学級等があるが、その場合はどのようにしているのか？

委員：複式学級の学校は2学年で1クラスなので全体で3クラスになる。欠学年が2つになれば学校全体で2クラスになることもある。学校の場合だと定数もあり、児童数によって教員の配置が決まっている。

児童数が少なければ行事についても、地域や保護者も含めて実施する等、色々工夫した対応が出来ると思う。

現在の羽幌保育園の場合だと、2歳児と4歳児で年齢が2グループあるので色々工夫して行事等は出来ると思うが、今の4歳児が卒園した平成29年度以降、今の2歳児だけという状況が生じた場合、他の年齢との交流がなくなり、子ども達にとっての環境としてはマイナスになっていく部分も多くなると思う。

委員：島の場合、天売ちびっこランドは人数が少ないと思うが、行事等はどのように実施しているのか？

事務局：天売ちびっこランドは現在7名の子どもがいて、焼尻は就学前の子どもが2人いるが天売のような施設は無い。行事については島内あげての行事ということで運動会や学芸会的なものを実施している。市街地区と離島地区の大きく異なる点は、離島地区については子どもの数が限られているが、市街地区については何か手立てを講じることによって、そのような状況が改善されることになる。離島地区全般で言うと、島内における色々な協力体制のもと、行事等が行われているという状況。

(追加で説明)

事務局：町でも、保育士や保健師・臨床心理士とも十分協議してきた経緯がある。考えた一番大きな点は、就学を最終目的とした集団教育の提供はどのような形が一番良いのか？ということ。平成28年度までは現在の4歳児と2歳児がいるが、それ以降はこのまま推移すると現在の2歳児だけという可能性もある。その中で集団教育の提供が出来るのか？と考えている。以前は幼稚園と保育園は目的がはっきりと異なっており、幼稚園については教育的なもの、保育園は養育する方が仕事等で子どもを看ることが出来ない場合に市町村がその子どもを預かるということで大きく分かれていた。ただ、現在は保育園も幼稚園も同じような形で、最終的には就学に向けた教育という部分も重要視されているというのが現状。今年度から始まった子ども子育て支援新制度に基づき色々な施策が展開されている。

羽幌保育園の実態でいうと、園児からは「なぜ友達が少ないのか？」ということや、また、色々な場面において順番を待つ機会が少ない状況である。トイレ・手洗いの行動等、人数が少ないため我慢するという気持ちが育まれる状況ではないということが懸念されている。さらに、園児数が少ない状況から就学となると、大人数になった際に戸惑いもあることから、出来るなら1年ごと、ワンステップずつ乗り越えていった方が良いのではないかと考えている。

子どもや保護者の方の環境が変わるということは、町としても重大なこととして考えている。ただ、いつか判断しなければならないとすれば、やはりこの時期が良いのではないかとということで、あくまでも子どもの集団教育的な部分において判断した考えとして先ほど説明した。3つの大きな要因があるが、やはり最初の集団教育的なものということで考えさせてもらった。

意見集約の結果について、2歳児の保護者から10件の意見があり、厳しい内容のものもあったが、肯定的な意見も3件あった。その意見の内容も含めて総合的に判断したということで理解していただきたい。

委員：現在、0歳児、1歳児がいないということは、すでに町の方で調整しているのか？それとも、全く希望が無いということか？

事務局：全く無いということではないが、施設的に難しい状況でもある。実際の申し込みは無いが、相談があり、羽幌保育園の現状を説明し、そういう状況であればまき保育所へということであった。

委員：平成28年度末（平成29年3月31日）の閉園として話しが進んで行っているような気がするが…、3歳児になって他の幼稚園へ行くという子もいると思うが、今の2歳児はどうか？

委員：1人は兄弟が他の幼稚園へ行っている子がいるので、その子は来年度から他の幼稚園へ行くと聞いているが、他の子はわからない。

委員：色々な問題があると思うが、園舎の問題については仕方ないのかと思う。やはり安心・安全というのは一番重要になってくると思う。

まき保育所に移った場合、給食費も含めて保育料は変わらないのか？

事務局：まき保育所の保育料は町で決定しているため、給食費も含めて保育料は変わらない。

委員：まき幼稚園へ移った場合はどうなるのか？給食費は別にかかるのか？現在の保育料から高くなることもあるのか？

事務局：現在、世帯の状況等により、保育料が0（ゼロ）円という方もいる。そういう方は、まき幼稚園に行った場合、基本料金は発生しないが、延長保育や給食費が減額にならないので、その分で高くなることもある。ただ、そうなれば当然、認定こども園まきへ行く場合、幼稚園ではなく、保育料の発生しない保育所を選択することになると思う。

委員：このまま残りたいという保護者の気持ちもわからなくは無いが、やはり仕方ないのかと思う。

委員：閉園の時期については、やはり仕方ないのかと思う。発達支援センターについては、羽幌保育園だけではなく、他の幼稚園ともかかわっているので安心してほしい。

委員：平成29年度に4歳児になる保護者の方の理解を十分に得るということを前提に、その子達のことを中心に考えると、やはり町で考えている平成28年度末閉園というのは良いと思う。

委員：基本的には0歳から3歳までは小さな集団できめ細かく指導していくというのが良いと思う。3歳から上の段階では、ある程度大きな集団の中で、友達と色々な切磋琢磨していくのが良いと思ってきた。そう考えると、平成29年度に5名だけとなるのは、やはり子どもがかわいそうかなと感じる。

委員：親の意見としては少人数での指導があっても良いと思うが、子どもにとっては色々な子と遊んだり喧嘩したりした方が、成長していく上では刺激的で良いと思う。やはり平成28年度末の閉園はやむを得ないのかと思う。子ども達にとって、少人数から大人数というのは、最初は抵抗があるかも

しれないが、すぐ慣れると思う。保護者の気持ちもわからなくはないが、もし閉園の時期が決定したら仕方がないし、割り切るしかないと思う。

委員：もし、平成28年度末に閉園が決まって、来年3歳児になる子が先のことを考えて幼稚園に移ってしまった場合、残った年長の子ども達もかわいそうかなと思う。そういう心配はあるが、でも時期的にみるとやはり平成28年度末というのが良いと思う。

委員：やはり色々な面から閉園というのはやむを得ないと思うが、保護者説明会で意見のあった、他施設への体験入園について、町の方で進めて行ってほしいと思う。それにより保護者の方の考え方も変わってくると思う。

委員：町と保護者で話しあって、町からはこれ以上出来ないと言われているので、納得していかないといけないと思う。他の保護者も納得している方もいるので仕方ないと思う。続けてほしいと言っても、町の考え方が決まっているので仕方がない。子ども達はすぐに慣れると思うが、やはり親同士の付き合いが大変なのかなと感じる。

会長：子どもは順応性があるのでスムーズに入っていけると思うが、保護者の方が負担なのかもしれない。その辺は、町の方でも色々なことを考えて進めて行ってほしいと思う。

皆さんからの意見では、町の考えている方向でやむを得ないとの意見だったと思うが、よろしいか。

(異論なし)

委員：今後の子育て支援事業について、新たな事業との記載があり、非常に楽しみにしているが、具体的に考えているものはあるのか？

事務局：具体的にはこれからになるが、今年3月に完成した「羽幌町子ども子育て支援事業計画」を作成するにあたって、ニーズ調査を実施しており、その中の意見を踏まえて、これから検討を進めていきたいと考えている。

事務局：今回の審議会での意見を踏まえて今後対応していきたいと思う。また、先ほど意見にもあった体験入園については、これから議会との協議を経て、町の方針が決まった後、各関係施設へお願いをし、この先1年余りあるので、しっかりとした対応をしていきたいと考えている。

今後の事業展開については、子育て支援センターの充実ということがあったが、これから議会との調整もあるので具体的には言えないが、内部協議の中では色々な考えは出てきている。今後、さらに協議を進めて平成29年度以降の事業展開へということで進めて行きたい。少子化の中、子育て世帯へ色々な形での支援や負担軽減のために「羽幌町子ども子育て支援事業計画」に沿って事業を推進していきたい。閉園については、財政的な部分もあるが、子ども達の成長に伴うステージの展開を図っていききたいということが根底にあることをご理解いただきたい。

平成27年度第2回 羽幌町就学前子育て支援審議会

と き 平成27年10月28日（水）午後6時

ところ 羽幌町すこやか健康センター

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

「羽幌保育園の今後について」

4 その他

5 閉 会

1 羽幌保育園の協議に係るこれまでの経過

羽幌保育園園舎の老朽化に伴う保育環境の悪化等により、平成17年頃から将来の羽幌町の児童福祉施設のあり方について協議を始めてきましたが、その後の国の政権交代による制度改革の影響等から、平成18年頃には羽幌町における協議が休止状態となりました。

平成23年に国の子育て施策の方針がみえてきたことから、羽幌町における児童福祉施設のあり方について協議を再開しました。その後、泉学園より「認定こども園」開設に係る支援要望が羽幌町に提出され、その時点においては、羽幌町としても当該計画に相乗りすることが望ましいと検討しましたが、このような羽幌町の対応は拙速であり、疑念を生むとの意見があったことから、再度検討した結果、「羽幌保育園のあり方」と「泉学園の認定こども園開設」は分離して検討することといたしました。

平成24年には、地方自治法に基づく町の附属機関として「羽幌町就学前子育て支援審議会」を設置し、効率的かつ充実した保育サービスを提供するため、羽幌保育園の民営化について「羽幌町」から「就学前子育て支援審議会」へ諮問をし、「環境の変化による子ども達への影響等、課題として考えられることがあるものの、保育環境の現状と児童の需要動向など総合的に考慮すると、民営化はやむを得ない」との答申を受け、平成25年に「羽幌町立羽幌保育園民営化方針」を策定しております。

その後、平成25年4月に開催した町議会常任委員会において、「選択肢がなくなることによる不安があること等の意見を踏まえ、民営化の基本的な方針を変えるものではないが、平成26年度も現状のまま募集し運営していき、これ以降のことについては子ども達の状況等（運営状況等）をみて閉園の時期について判断していきたい。」と説明しております。さらには、平成27年2月の同委員会において、「平成27年度中には羽幌保育園の方向性を示したい。」と説明しているところです。

2 羽幌保育園の現状等について

(1) 現在の園児数（H27.10現在）及び今後の見込み園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
H27.10現在	0人	0人	5人	0人	9人	0人	14人
H28見込	0人	0人	0人	5人	0人	9人	14人
H29見込	0人	0人	0人	0人	5人	0人	5人
H30見込	0人	0人	0人	0人	0人	5人	5人

(2) 過去の園児数 (年間の平均)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
園児数	57人	55人	49人	46人	52人	50人	44人	23人

(3) 運営費について

単位：千円

	H26(決算)	H27(予算)	H28	H29	H30
歳出計	36,974	39,509	39,509	39,509	39,509
歳入計	5,600	3,184	3,184	3,184	3,184
一般財源額(歳出-歳入)	31,374	36,325	36,325	36,325	36,325

3 羽幌保育園保護者アンケート結果及び説明会等における意見について

(1) 平成27年4月実施アンケート

対象者：羽幌保育園保護者 14名 (園児数 4歳児：10名、2歳児：6名、計16名)

※兄弟で入園している子もいるため保護者数と園児数は異なる

回収者数：13名 (1名5月に退園)

I なぜ、羽幌保育園への入園を選択しましたか？ (複数回答)

① 自宅から近いなど、通園に都合が良いから。	2
② 自分(保護者)や兄の兄弟が卒園した施設だから。	6
③ 保育園の指導体制が信頼できるから。	3
④ 園児が少なく、兄に合わせた指導が期待できるから。	8
⑤ 保護者間の交流がわずらわしくないから。	4
⑥ 町で運営している施設だから。	1
⑦ その他	1
(その他内容)	
・入園前に通っていた「うさこちゃん」で保育園の先生(子育て支援)と顔見知りになったため、子どもが行きやすいと思って。	

II 園児数の減少や欠年齢の発生をどのように考えますか？ (複数回答)

① 園児が少ないことにより、指導体制の充実が期待できる。	3
② 運動会、お遊戯会等への園の行事への影響が大きい。	9
③ 集団教育面に不安ある。	1
④ 保護者における園行事等への負担大きい。	0
⑤ その他	2
(その他内容)	
・出来れば羽幌保育園で卒園させてあげたい。	
・少人数の方が良い。	

Ⅲ 町内の認定こども園がどのようなものか知っていますか？

① 知っている。	9
② 知らない。	4

(2) 平成27年7月開催保護者説明会

開催日時：平成27年7月27日（月） 19時～19時45分

開催場所：羽幌保育園

参加者数：9名

◇4月に実施したアンケート結果の報告と羽幌保育園の現状及びこれまでの協議の経過について説明。

◇今後、様々なところとの協議を経て平成27年度内には方針を決定するが、閉園の時期については、この時点でのひとつの考えとして、園児数の見込みから、現在の4歳児が卒園する平成28年度末（平成29年3月31日）が可能性としてあることを伝えた。

◇あくまでも子ども達のことを第一に考え、町として総合的に判断するが、大きな要因として次の3つが上げられる。

①保育園なのであくまでも保育を必要とする子どもが通うが、園児数が少ない状況で、就学を最終目的とした集団教育の十分な提供が困難であると考えられる。

②園舎について建築から47年が経過し、老朽化が進んでおり限界にきている状況である。

③町全体の財政状況が厳しい中、毎年3千万円以上の保育園運営費がかかっている状況である。

◇参加した保護者からは、この場ですぐに意見を述べるのは難しく、また、参加できなかった保護者もいることから、あらためて意見集約をしてほしいとの要望があり実施することとした。

(3) 平成27年8月実施意見集約

対象者：羽幌保育園保護者 12名（園児数 4歳児：9名、2歳児：5名、計14名）

※兄弟で入園している子もいるため保護者数と園児数は異なる

回収者数：9名

○意見内容別件数

	園児数	環境変化	運営費	閉園時期	施設	保育料	合計
2歳児	3件	2件	2件	1件	1件	1件	10件
4歳児	4件	2件	1件	2件	1件	1件	11件
合計	7件	4件	3件	3件	2件	2件	21件

（回答人数 ～ 2歳児：4名回答／5名中、4歳児：5名回答／9名中）

《園児数について》

園児数は少ないが、少ないなりに良い部分もあるとの意見がありました。4月に実施したアンケートでも「園児が少なく児に合わせた指導が期待できる」との意見が多かったのですが、その一方で園児数が少ないことによる行事（運動会・お遊戯会）等への影響を心配する声も多数ありました。

⇒ 子どもによっては、少人数の方が良い場合もあるかもしれませんが、町としては、欠年齢のクラスがあるため異なる年齢との交流が不足することが懸念され、園児数が少ない状況で成長過程におよぶ教育的な部分でいうと、小学校入学を見据えてどうなのか？と考えています。現在の保護者は「少人数での保育」を望んでいる方が多いようですが、現在の園児数に対しての運営費で考えると、町の財政的な面で厳しい状況であることはご理解いただきたい。

《環境の変化について》

他施設へ移った場合、子どもも保護者も新しい環境に一から始めていかなければならないことは大変なことであることを理解してほしいとの意見がありました。また、現在のまき保育所は園児数が多く先生方の手がまわっていないのでは？との不安の声もありました。

⇒ 町として環境が変わることにより大変な苦労があることは十分に理解しています。また、まき保育所の現状については、法律に基づく職員配置で行っているため、そのようなことはありませんが、羽幌保育園保護者の方のそうした不安が無いよう調整していく必要があると考えています。

他施設（保育園）が縮小、閉園になった場合どうなるのか？また、発達支援センター（にじいろ）との連携についても大丈夫なのか？との意見がありました。

⇒ 保育の実施については、法律（児童福祉法）で定められており、市町村に実施義務（公営・民営を問わず、保育料の決定等、市町村の適切な関与の義務）があるので、仮に他施設が閉園となっても、町の責任において保育は実施します。また、発達支援センター（にじいろ）との連携は、現在も羽幌保育園のみではなく、乳幼児健診等から保健師を通じて、他の幼稚園・保育園とも連携して実施しています。

《運営費について》

町の財政状況が厳しく運営費がかかることが一番の要因で同意するとの意見がありました。その一方で運営費がかかっても利用する子どもがいるのであれば仕方がないとの意見もありました。

⇒ 現在の園児数に対しての運営費で考えると、町の財政的な面で厳しい状況であることはご理解いただきたい。

《閉園時期について》

もう少し長く羽幌保育園を運営してほしいとの意見や、閉園する場合は早く知りたいとの意見がありました。

⇒ 町では平成25年に民営化方針を策定し、閉園の時期については運営状況等を見て判断することとしており、園児数の状況などからみて、平成28年度末（平成29年3月31日）と考えておりますが、今後、協議を経て年内には決定します。

《施設について》

園舎の老朽化の問題について、同意するとの意見もありましたが、病院や老人施設等と連携して小規模保育所を併設出来ないかとの意見もありました。

⇒ 町としては、災害等がおきた場合の耐震化の面などから判断が必要な時期にきていると考えています。過去には羽幌保育園と他の児童福祉施設等と連携して建て替え出来ないか等、議論してきましたが、そのような方向にはなりませんでした。

《保育料について》

幼稚園に移ったとしても、夏休みや冬休み等もあり延長保育の料金を考えると、現在の保育料より高くなるのでは？との意見がありました。

⇒ 他施設へ移った場合の保育料は、幼稚園については現在の保育料から変更になりますが、現在の町内民間保育園の保育料については、町で決定しており羽幌保育園と変わりません。

(4) 平成27年10月開催保護者説明会

開催日時：平成27年10月6日（火）19時～20時

開催場所：羽幌保育園

参加者数：7名

◇先に実施した意見集約結果の報告と今後の方針について説明。

◇保護者からの主な質問・意見等については次のとおり。

- ・現在の羽幌保育園の先生方を信頼しているから、安心して預けている。今の羽幌保育園の環境が一番良い。

- ・仮に羽幌保育園が閉園となれば他施設へ移ることになるが、現在の人数から大人数になり子どもにとって負担になるため、その負担を軽減できるようなことを検討してほしい。（例えば、他施設へ体験入園する等）また、他施設の状況も知りたいので、そういう場を作ってほしい。

⇒検討します。

- ・今後、羽幌保育園への入園を希望する者がいた場合はどうなるのか？

⇒現在の制度では、保育所利用申請を受け、町で決定し、それぞれの保育所の状況等により町が調整するため、羽幌保育園ではなく、まき保育所へということになると思います。

◇今後の方針として、以前から上げている3つの大きな要因等から総合的に判断すると、やはり閉園時期については平成28年度末（平成29年3月31日）ということで内部でも協議を重ねて考え方をまとめた。これからは就学前子育て支援審議会や町議会等へ保護者の方からの意見集約結果や説明会での内容等を報告したうえで町の方針を説明し、進めていく予定であることを伝えている。

4 羽幌保育園の今後について

羽幌保育園については、これまで様々な協議を経て、平成25年に「羽幌町立羽幌保育園民営化方針」を策定し、運営状況等をみながら閉園時期について判断することとしておりました。

羽幌町としては、現在の園児数の状況・今後の見込み、運営費の状況、園舎の老朽化など総合的にみて、平成28年度末（平成29年3月31日）をもって閉園すべきという考え方をまとめました。

羽幌保育園閉園後については、子育て支援センターの職員体制の充実を図り、現在の事業に加えて、新たな支援策を展開していきたいと考えております。

5 今後の子育て支援事業の展開について

☆子育て支援事業の拡大として検討すべきこと

焼尻地区を含めた離島支援の拡大、各地区への出前事業の展開、拠点施設における事業回数の拡大など。

その他、関係機関等と協議をすすめ、子育て世帯に対して負担軽減となるような、新たな事業への取組みについて検討。

【参考】

現在の主な子育て支援事業

事業名	内容等	日時	場所	
子育て支援センター	子育て相談	子育てについての疑問や不安に感じていることなどの相談受付等。	土曜日、日曜日、祝日を除く9:00～17:30	羽幌保育園(電話相談等)
	うさこちゃんあそびの広場	0～6歳までの幼稚園・保育園入園前の子とその保護者を対象に、保育士による自由遊び、親子での遊びなど行う。	毎週火曜日、金曜日 9:30～11:15	健康センター
	野苺くらぶ(離島地区)	離島地区に住む就学前の子とその保護者を対象に、保育士による親子での製作、遊び、体操など行う。	年1回	天売ちびっこランド
育児教室	あいあいサークル	1歳未満の子とその保護者を対象に、保健師・保育士による育児相談、体づくりの遊びなど行う。	月2回	健康センター
	小苺くらぶ	1歳6ヶ月～2歳までの子とその保護者を対象に、保健師・保育士による自由遊び、親子での遊びなど行う。	月2回	健康センター
	苺くらぶ	2歳1ヶ月～3歳未満の子とその保護者を対象に、保健師・保育士による自由遊び、親子での遊びなど行う。	月2回	健康センター